

科目名	ホテル産業演習 I						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	佐藤 俊子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	前期授業とホテル実習で学んだ基礎を元に、演習を通して業界について更に深く掘り下げ研究、考察する。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテル実習の振り返りと情報共有をし、ホテルごとの特徴を分類する	
	○					有名ホテルの実績をもとに、その成功例を検証する	
	○					現在のホテルのトレンドを知り、今後のホテルの向かうべき姿を考え、意見することができる	
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、実習振り返りと情報共有する					
	2	販売促進 広告宣伝とPRの違いを学ぶ(帝国ホテルのパブリシティ)					
	3	ホテルの婚礼を学び、他社と比較研究する(歴史と実績の考察)					
	4	海外ホテル(ラスベガス、マカオ)					
	5	海外ホテル(ハワイ)					
	6	海外ホテル(パリ)					
	7	海外ホテル(シンガポール マリーナベイサンズとラッフルズ)					
	8	スモールゴージャスへと転換する世界のホテル事情					
	9	福岡のホテルの未来像、最終回の発表準備				レポート提出	
	10	発表とフィードバック					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)発表・プレゼン (2)レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出		○		○		50%
	発表・プレゼン	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	レストラン実務B						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	40時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要なサービス方法についてをより深く学んでいく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			前期で学んだレストランサービススキルをより正確に素早く行うことができる。	
	○					西洋料理全般の知識を習得し、正確に答えることができる。	
	○					お酒の知識を習得し、正確に答えることができる。	
			○			現場に即したレストランサービスを、他者の前で正確かつ迅速に実践することができる。	
	○					レストラン部門で必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期レストラン実務での内容とホテル実習での相違と感想			ホテル実習での経験をまとめておくこと		
	2	前期試験項目のサービススキルの復習と確認			実技復習テストに向けて準備をすること		
	3	前期試験項目のサービススキルの復習と確認			実技復習テストに向けて準備をすること		
	4	レストランサービス実技復習テスト			実技復習テストに向けて準備をすること		
	5	レストランサービス実技復習テスト			実技復習テストに向けて準備をすること		
	6	レストランサービス実技復習テスト、西洋料理と和食について			実技復習テストに向けて準備をすること		
	7	前菜・スープ・食前酒と食中酒の知識			授業内容を復習しておくこと		
	8	魚料理・肉料理・ワインの知識			授業内容を復習しておくこと		
	9	パスタ・チーズ・デザート・食後酒の知識			授業内容を復習しておくこと		
	10	お酒の知識、バーテンダー業務			授業内容を復習しておくこと		
	11	お酒の知識、バーテンダー業務			授業内容を復習しておくこと		
	12	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	13	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	14	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	15	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	16	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	17	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	18	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて準備をすること		
	19	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて準備をすること		
20	レストランサービス実技試験、正試験対策			正試験に向けて復習をしておくこと			
評価方法	(1)授業の中で実技復習テストと実技試験の2種類を実施する。(2)正試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技復習テスト			◎	○		25%
	実技試験			◎	○		50%
	正試験	◎					25%

履修上の注意	受講の際は料飲実習服を着用し、身だしなみを整えた上で参加すること。 出席が14回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	宴会実務						
科目名(英)	Banquet Business						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける宴会部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、主に宴会の概要・種類・形式・サービス・予約・営業を学習し知識を習得。 また、シャンパンサービスの演習も行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					宴会部門に必要な各種レイアウトに対し、正確に答えることができる。	
			○			宴会場設営:シアター形式・スクール形式を作ることができる。	
	○					主要宴席の実施月が説明できる。個人商品の「長寿の祝い」を説明できる。	
			○			シャンパンサービスが行えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	宴会管理論 小野田正美 著 株式会社 マーケティング オフィス						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	項目:ホテルで行われる宴会の概要 内容:定義・商品の全体像について				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	2	項目:宴会や会議の種類と概要① 内容:宴会実施カレンダー・季節別・業種別・通年宴会・慶事・弔辞				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	3	項目:宴会や会議の種類と概要② 内容:宴会実施カレンダー・季節別・業種別・通年宴会・慶事・弔辞 シャンパンサービス練習①				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	4	項目:宴会サービスセクションの業務 小テスト① 内容:各役割・用語の説明 1.2.3回目までの内容の小テスト実施 シャンパンサービス練習②				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。 小テストの対策	
	5	項目:宴会・会議等のスタイル別種類と概要 内容:立食・円卓・流し・ロ・コの字・展示会・スクール・シアター・島				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	6	項目:宴会実技① 内容:テーブルセッティング(ショープレート位置)				各種レイアウト作成において、注意すべき点を考える。また、スタンバイの基準を考える。	
	7	項目:宴会実技② 内容:テーブルセット・パッシングについて マイクアテンドについて				各種レイアウト作成において、注意すべき点を考える。また、スタンバイの基準を考える。	
	8	項目:宴会予約・営業セクションの業務 小テスト② 内容:宴会予約・販売の役割について				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。 小テストの対策	
	9	項目:用語一覧のおさらい 内容:授業で使用した用語の確認、理解				上記1回目の授業から8回目までを通し、 不明箇所・再度説明が必要な個所を準備	
10	正試験対策(復習テスト)				復習テスト対策		
評価方法	(1)授業中での小テスト2回実施(2)期末正試験(筆記)(3)正試験対策での復習テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト		◎				30%
復習テスト		◎				20%	
履修上の注意							

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	合力朱実		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	「専門学校生のための一般常識トレーニング」一ツ橋出版 第4版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス説明、第3回実力テスト				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)	
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について				次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)	
	6	ROUND11~15 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	第4回実力テスト ROUND17: 日本語・英語のことわざ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	ROUND16~20 確認テスト、試験対策				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
評価方法	(1) 定期試験 (2) 小テスト (3) 出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ホテル英会話 I B						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20	担当者	佐藤俊子/秋本佐代子		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	ホテルでの従業員 トレーニングを担当 /		
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテルでのインターンシップに必要な基礎的なスピーキング力を養う。専門用語や決まり文句を学び、ロールプレイ形式で受け答えの練習をする。またナチュラルなスピードに慣れるため、フォロイング練習も重ねていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		フロントでの基本的な対応を英語でできるようになる。	
	○	○		○		客室での基本的な対応を英語でできるようになる。	
	○					ホテルで使われる基本単語・表現が20個以上言える	
テキスト・教材 参考図書	日本外国語専門学校 国際ホテル科 『ホテルのおもてなし英会話』(株)DHC(2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	フロント(チェックイン)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	2	フロント(販売・営業)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	3	フロント(お客さまからの苦情)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	4	フロント(ビジネスセンター)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	5	フロント(緊急対応)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	6	筆記テスト(英文和訳)ノホテル英語の基本表現				今までの単語・フレーズをもう一度ノートに書いて覚える(1時間)	
	7	客室(ランドリーサービス)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	8	客室(ターンダウンサービス)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	9	客室(菓の依頼とバゲージダウン)				該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)	
	10	会話テスト				会話文を何度も音読練習する(0.5時間)	
評価方法	(1) 筆記テストを1回、(2) 会話テストを1回行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記テスト	◎	◎				50%
	会話テスト		◎				50%
履修上の注意	テキストを毎回持参。						

科目名	English Conversation I B						
科目名(英)	English Conversation						
単位数	1	時間数	20時間	担当者	Jason,Andy,Eoghan		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	Hotel 1						
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式	講義: <input type="checkbox"/>	演習: <input type="checkbox"/>	実習: <input type="checkbox"/>	実技: <input type="checkbox"/>	※ 主たる方法: <input type="checkbox"/> その他: <input type="checkbox"/>		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	<input type="checkbox"/>					Raise students' English proficiency	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				Give students more confidence in using English	
	<input type="checkbox"/>					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book1						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Getting to know your teacher			none		
	2	Unit 3.1 Big Happy Families			Preview lesson materials and		
	3	Unit 3.2 Real Friends?			Preview lesson materials and		
	4	Unit 3.3 Are You Free Tonight?			Preview lesson materials and		
	5	Unit 3.4 Diwali Celebrations			Preview lesson materials and		
	6	Unit 3.5 Lookback and review			Preview lesson materials and		
	7	Unit 4.1 A Place to Stay			Preview lesson materials and		
	8	Unit 4.2 Around Town			Preview lesson materials and		
	9	Review and practice for speaking test			Preview lesson materials and		
	10	Speaking Test			Review previous lesson material		
評価方法	Students evaluation: (1) Test = 50% (2) Class participation = 50%						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験 Semester End Exam	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		50%
	小テスト In-class Tasks	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		50%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 3 classes.						

科目名	実用英語 I B						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	40時間	担当者	講師未定		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	TOEIC350～400に必要な英語の基礎を学ぶ。基本的な文法の知識の確認を行うと共に、比較的簡単な長文の読解を目指す。音読練習も加えたリスニング練習を反復的に行うことで、資格試験のみならず、日常会話に必要な力も伸ばしていく。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					下記に記した文法事項について説明ができる。	
	○					簡単な長文を読んで概要を掴むことができる。	
	○					比較的短い対話文やアナウンスを聞いて概要を掴むことができる。	
	○					比較的簡単なビジネス向けの単語を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	新TOEICメガ模試、TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業の説明・単語解説				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	2	リスニング(Part 1 人物動作)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	3	リーディング(Part 5 時制)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	4	リーディング(Part 5 品詞)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	5	リスニング(Part 2 疑問文)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	6	リーディング(Part 5 代名詞)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	7	リスニング(Part 3 ビジネス会話)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	8	リスニング(Part 4 アナウンス)				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	9	TOEIC模試① リーディング100問				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	10	TOEIC模試① リスニング100問				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	11	TOEIC模試② リーディング100問				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	12	TOEIC模試② リスニング100問				単語テストに向け該当箇所を覚える	
	13	リスニングまとめ				復習テストに向け勉強	
	14	リーディングまとめ				復習テストに向け勉強	
	15	リーディングまとめ				復習テストに向け勉強	
	16	リーディングまとめ				復習テストに向け勉強	
	17	リーディングまとめ				復習テストに向け勉強	
	18	リーディングまとめ				復習テストに向け勉強	
	19	リーディングまとめ				復習テストに向け勉強	
	20	復習テスト				正試験に向けた復習	
評価方法	(1)復習テストを実施する。(2)単語テストを実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	単語テスト	◎					10%
復習テスト	◎	○				40%	

履修上の注意							

科目名	EXCEL						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	40時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの一つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能の基本的な操作方法を習得する。問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策の学習をする。また、検定対策の一環として客観的に自分の解答が正しいか判断できるようになるため自己採点を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Excelで作成ができる。	
		○				Excelでグラフの作成と編集ができる。	
		○				Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
	○	○				Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016 2016対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Excelの概要・データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成・練習問題				テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる	
	3	基本のグラフ作成・練習問題				テキスト記載の実習問題1~4のグラフ作成を完成させる	
	4	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)				テキスト記載の実習問題7~10を完成させる	
	5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算・関数(2から選べる関数)				テキスト記載の実習問題11~15を完成させる	
	6	いろいろな関数(COUNTA,ROUND類,RANK類,IF)				テキスト記載の実習問題16~18,37を完成させる	
	7	スパークライン・グラフ機能				テキスト記載の実習問題20~26を完成させる	
	8	データベース機能				テキスト記載の実習問題34,35を完成させる	
	9	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習					
	10	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習				練習問題1を仕上げる。	
	11	検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習				練習問題2を仕上げる。	
	12	検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習				練習問題3を仕上げる。	
	13	検定問題集_模擬問題1_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題1を仕上げる。	
	14	試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目					
	15	検定問題集_模擬問題2・3_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題2・3を仕上げる。	
	16	検定問題集_模擬問題4・5_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題4・5を仕上げる。	
	17	検定問題集_模擬問題6・7_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題6・7を仕上げる。	
	18	模擬試験2回目					
	19	模擬試験解説・質疑・別問題					
20	期末試験実技						
評価方法	(1)授業の中で検定対策として模擬試験を2回実施する。 (2)テキスト「30時間でマスターExcel2016」内の実習問題を70%以上仕上げる。 (3)検定問題集の10問を全て仕上げる。((2)(3)については、授業終了時にメモリに保存して提出。提出期限遵守も評価対象とする) (4)問題集の模擬問題1~7について採点表をもとに自己採点しプリントで提出する。 (5)検定試験と同程度の実技期末試験を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	模擬試験	○	◎	○			15%
上記(2)課題提出		◎	○	◎		10%	

	上記(3)検定問題集	○	◎	○	○		20%
	上記(4)自己採点表提出	○	○		◎		5%
履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、評価Dとする。 操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)	Social education I B						
単位数	1	時間数	20時間	担当者	木村匡志/一岡浩己		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテルの料飲部で勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	就職活動の流れややり方をきちんと理解し、就職活動準備を行っていく。また、それに伴い求職票受付面接の準備を行い、求職票受付面接に合格することを目標とする。就職活動前の準備として課題作文に取り組む為、その提出状況も社会教養の成績評価に加味する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				就職活動の準備に積極的に取り組み、課題を完了することができる。	
	○	○	○			求職票受付面接の準備に積極的に取り組み、合格することができる。	
		○				課題作文を完成させ、期日までに提出することができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、ホテル実習御礼状作成			御礼状を完成させ、発送すること		
	2	クラス役割決め、後期目標設定、就職斡旋規定について			決定した後期目標を実践すること		
	3	学生ウェブメールについて、自己分析とキャリアプランニング			自己分析を進めること		
	4	求職票受付面接について、求職票の書き方			求職票の記入を進めること		
	5	自己表現、自己PRについて			就活用の自己PRを準備すること		
	6	身だしなみ講習、就職用写真撮影			身だしなみを整えて参加すること		
	7	求職票受付面接対策			求職票受付面接の準備を進めること		
	8	求職票受付面接対策			求職票受付面接の準備を進めること		
	9	求職票受付面接対策			求職票受付面接の準備を進めること		
	10	就職環境を知る、就職活動スケジュールについて			今後の就職活動について正しく理解すること		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題作文を実施する。(2)レポート (3)求職票受付面接合格 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作文提出状況		◎				50%
	レポート		◎		◎		25%
	求職票受付面接合格	○		○			25%
履修上の注意	検定やイベント等での日程調整により、授業項目の順番に変更が出る場合もあります。						

科目名	海外研修						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	40時間	担当者	木村匡志/一岡浩己		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科1年						
授業概要	授業にて学習したホテルに関する知識を海外と比較する機会として、国際感覚を養うことを目的とした研修旅行を実施						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					該当各国・エリアのホテル理解を深めることができる。	
			○			ホテルにて1日研修を実施する。	
			○			計画・予定に沿って行動することができる。	
				○		団体行動を認識し、周囲に配慮して研修を修了することができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行パンフレット ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	該当各国・エリアの観光資源－自然景観の学習					
	2	該当各国・エリアの観光資源－観光地の学習					
	3	ホテル実地研修					
	4	行程表(行動予定表)－グループ、個人で予定を立て、行動					
	5	ホテル見学					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)終了後レポートを提出する。 (2)グループまたは個人で発表を行う。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・提出				◎		80%
	発表				◎		20%
履修上の注意	研修は希望者にて実施。						

科目名	Internship English						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	講師未定		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	海外ホテルでのインターンシップに必要な英語を学ぶ 外国人講師との授業で、ネイティブの英語表現、コミュニケーションに慣れる						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテル用語を英語で説明できる	
		○				接客の場面を想定して英語でコミュニケーションが取れる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容説明、自由英会話					
	2	ハウスキーピングの英語①ベッド					
	3	ハウスキーピングの英語②バスルーム					
	4	ハウスキーピングの英語③客室備品					
	5	ハウスキーピングの英語④デリバリー				小テスト	
	6	レストランの英語①案内業務					
	7	レストランの英語②メニュー					
	8	レストランの英語③ゲストからのリクエスト				小テスト	
	9	フロントの英語					
	10	確認テスト					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)小テスト (2)確認テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○			○		50%
	確認テスト		○		○		50%
履修上の注意							

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	小川 果		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か、より良いコミュニケーションのために大切なことは何かを理解する 言いたいこと、言うべきことを明確に簡潔に相手に伝えることができるようにする 言語表現力を高めることにより、セルフエスティームを向上させ、新たな社会で生きていく自信をつける 社会での自称への関心を深め、自分と社会を関連づけて考えることができるようになる						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					1対1での対話がきちんとできる	
	○					自らの意見や考え、価値観を開示することができる	
		○				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を理解できる	
		○				ニュースに関心をもち、社会的存在としての自分に気付くことができる	
	○				自分とは何か、自分はどんな人間か、より深く考えることができる		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会とは何か 社会とは？家庭とは？クラスとは？					
	2	何を学ぶか 何を手に入れたいか？コスト意識を持つ					
	3	コミュニケーション(1) マナー、返事、1対1で話す					
	4	コミュニケーション(2) 聞く、質問する 相手の話を要約する					
	5	コミュニケーション(3) 実践報告					
	6	スピーチ(1) 「物」を媒介にして自分を伝える					
	7	スピーチ(2) 「言葉」を媒介にして自分を伝える					
	8	スピーチ(3) 「ニュース」を媒介にして自分を伝える					
	9	自己分析 あなたはどんな人ですか？					
	10	グループディスカッション、社会人となるためのポイント					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)出席状況 (2)平常点(授業態度、賛歌の度合い、発表に対する積極性) (3)技能点(各課題ごとに評価)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		30%
	平常点		○		◎		30%
	技能点	◎	○				40%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	海外ホテル実務						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	郡 薫 奨		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	日系ホテルの宿泊部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	海外生活やホテル実習を行うために必要な知識、情報を習得し、英語表現を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					海外生活で使う日常表現を英語で説明できる	
	○					ホテル用語を英語で覚え、話することができる	
	○					英文メールを作成できる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容説明、導入					
	2	日常英語表現①買い物					
	3	日常英語表現②家事					
	4	日常英語表現③病院				小テスト	
	5	ホテル英語表現①トラブル時					
	6	ホテル英語表現②予約					
	7	英文メール①日本語				小テスト	
	8	英文メール②英語					
	9	英語面接練習					
	10	確認テスト					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)小テスト (2)確認テスト						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○			○		50%
	確認テスト	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	ペン字						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテルマンとして日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する 正しいペンの持ち方、姿勢を守り、書写することにより集中力をつける						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉遣いで、自分の履歴書を書くことができる	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる	
			○			正しいペンの持ち方、姿勢で書写することができる	
				○		集中力を持って取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用書① 氏名、実習のお礼状の書式			ボールペンの練習をしておくこと		
	2	ペン字基本 基本点画練習			お礼状提出できるようにしておくこと		
	3	ペン字基本 筆順、基本点画			基本点画の復習		
	4	ペン字基本 字形の整え方(字形24体)			筆順の復習		
	5	ペン字基本 平仮名字源、練習、片仮名			字形の復習		
	6	履歴書 履歴書を体裁よく書くコツ			履歴書の必要事項を調べておくこと		
	7	履歴書 履歴書ペン書き、練習			履歴書の下書きを調べておくこと		
	8	履歴書 履歴書清書、求職票			履歴書のペン書きをしておくこと		
	9	実用書② 年賀状、はがきの書式			履歴書の清書提出できるようにしておくこと		
	10	実用書③ のし書き、芳名帳			求職票下書きを書いておくこと		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験のかわりとして評価する (2)出席状況を意欲点として評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○	◎				80%
	出席				○		20%
履修上の注意							

科目名	文化観光地理					
科目名(英)						
単位数	1	時間数	20時間	担当者	郡 薫 奨	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	日系ホテルの宿泊部門で勤務	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	ニュージーランドでの生活に必要な文化、地理やホテルインターンシップに役立つ観光情報等を学ぶ ニュージーランドの文化、風土を知ること、異文化理解に役立てる					
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:	
					実技:	
	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>					
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	<input type="radio"/>					有名観光地を覚え、特徴を説明できる
	<input type="radio"/>					気候や文化を学び、違いや特徴を説明できる
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				日本の文化と比較することで、現地文化をより深く理解し、現地での生活に役立てる
テキスト・教材 参考図書	ニュージーランド政府観光局HP					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	授業内容説明、上記HP閲覧				
	2	地理を学ぶ				
	3	文化を学ぶ				
	4	観光地を学ぶ				
	5	日本との文化比較				
	6	Gina & Partners南様の講話				レポート作成
	7	パワーポイント作成				
	8	発表				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポート提出 (2)パワーポイントを使った発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート	<input type="radio"/>				
	発表		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
						評価割合
					50%	
					50%	
履修上の注意						